



パニパニ☆スクール

今回のパニパニ☆スクールは砂川中学校の商品開発プロジェクトを紹介します！

砂川中学校 商品開発プロジェクト

私達砂川中2年生6人は、コロナウイルスの影響で職場体験をすることが難しいという事でcafe nuis(カフェ ニュイス)の砂川文見さんと知子さんに協力して頂き、学校農園で自分達で作った野菜を使って商品開発をすることにしました。

最初は色々な野菜について調べて、その野菜の中から商品に使いそうな3種類を選び、その野菜に合ったスイーツを作ることになりました。候補になったスイーツの島バナナのワッフルとにんじんのサターアンダギーとほうれん草のマフィンに決めました。そして良いところと改善した方がいいところを話し合っ、おいしいマフィンを作るために何度も試作をしました。

マフィンが完成したところで、広報部、経理部、デザイン部、営業部、商品開発部の5つの部署に分かれて1人1人が部長になってそれぞれの仕事を進めました。

原価計算、パッケージデザイン作成、プレゼン資料作成、アレルギーの表示など今までやったことのないことばかりで大変でしたが、とても楽しかったです。実はこの記事も広報部の仕事として広報部長が書いています。

1月23日(土)にcafe nuisで販売するのでぜひ買いに来てください！



砂川さんとの打ち合わせ



試作中！(頑張れみんな～)



完成したマフィンで～す！



城東中学校準備室開設

初代校長・教頭紹介



比嘉 豊樹校長

進取果敢

この度、新設、宮古島市立城東中学校校長を11月1日付けで拝命しました。

また、同時に宮古島市立城東中学校設立準備室室長ということで、現在勤務する西城中学校と兼務しています。来年3年度4月1日に円滑に開校すべく、與那覇慎也新教頭、事務の中村さんと共に諸準備を進めているところです。

新・城東中学校は砂川、西城、城辺、福嶺の4中学校の統合校となります。

校訓である「進取果敢」を胸に、学校教育目標である「自らに誇りを持ち、確かな知性で、未来を切り拓く生徒」の育成に向け全力を尽くしていきたいと思えます。

これからの変化の激しい時代を切り拓いていく事のできる力を持った生徒の育成のため職員はもちろんのこと、4学区の生徒の保護者、卒業生、地域の皆様方の叡智を結集していきましょう。名前の通り、じょうとうな学校づくりに皆様のお力をお貸しください。

すべては、全校生徒の笑顔と夢や目標の実現に向けて



與那覇 慎也教頭

11月1日に城東中学校教頭に任命されました。4月の開校に向けて教育計画を策定するとともに、開校後は職員一丸となって城辺地区の特色ある教育活動を実施し、生きる力を育むことができるよう、比嘉校長のもと取り組んで参ります。よろしくお願ひします。



與那覇 慎也教頭

比嘉 豊樹校長

連載 文化財を巡る

『宮古島のミヤーカー群』

No.46

宮古島市内には、沖繩・八重山諸島にはみられないミヤーカーという独特の形式の墓がみられます。

現在、宮古島市には県の史跡に文化財指定されているスムリヤミヤーカー(米間)をはじめ、市の史跡に文化財指定されている、久松ミヤーカー群(久貝・松原)、大立大殿のミヤーカー(下里)、仲屋金盛ミヤーカー(東仲宗根)、スサビミヤーカー(伊良部)があり、ミヤーカーと呼ばれないものの、川満大殿の古墓(洲鎌)もミヤーカーの形態を呈しています。これらのミヤーカーは同じような形態をしているものの、その構造には違いもみられ、それぞれを比較してみると非常に興味深い史跡であるといえます。今回は、宮古島のミヤーカーの概要についてご紹介したいと思います。

ミヤーカーについてその定義を明確に示したものはありませんが、共通する構造として、方形の切石で囲いを行った内部に、一基もしくは複数の石棺を有する墓をミヤーカーとして捉えることができます。ミヤーカーの大きさについては、松原ミヤーカーのように五×五m四方の小型のものもあれば、スサビミヤーカーのように七×一〇m四方の大型のものもあり、そのサイズには大小があります。

また、ミヤーカーの語意については諸説ありますが、稲村賢敷は、石で囲われた囲いの中を「みゃー」と称することに由来するとしています。

先にあげた代表的なミヤーカーを地図におとしてみると、宮古島の西部に集中していることが分かります。これまでは保良地域にもミヤーカーの名称で報告されている墓もありますが、その詳細は明らかではなく、地域的な傾向をもつ可能性が考えられます。



ミヤーカーの年代については、明確にされていませんが、伝承として古い事例は、久貝ぶさぎ(ミヤーカー)に埋葬されている仲宗根豊見親の妻であるウツメガの父安嘉宇立親と、仲宗根豊見親の育て親とされる大立大殿であり、仲宗根豊見親が一五世紀後半〜一六世紀前半の人物と考えるならば、両人物は一五世紀中頃〜後半の人物と推定されます。また、その他の仲屋金盛は、仲宗根豊見親の子であり、川満大殿は同時代の人物であることから、一六世紀前半頃の人物と推察されます。これらの伝承については、発掘調査などからも裏付けを行う必要性があります。これらの人物の年代観から考えると、ミヤーカーの年代は概ね一五世紀中頃から一六世紀前半に位置づけられるものといえます。

今回は、宮古島市内でも最大のミヤーカーである伊良部島のスサビミヤーカーについて紹介したいと思います。



久貝ミヤーカー(久貝ぶさぎ)

1月 2月

おはなし会予定

宮古島市立図書館

・毎週土曜日 15時～

城辺分館

・1月10日(日) 15時～

・2月7日(日) 15時～

年末年始の休館のお知らせ

令和2年12月28日(月)～令和3年1月4日(月)まで休館とし、1月5日(火)から開館いたします。

※新型コロナウイルスにより予定を変更または中止する場合があります。ご了承下さい。

子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育相談室では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎ 79-7819

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月～金曜日(祝祭日除く)午前8時30分～午後4時30分

【所在地】宮古島市平良字西里1140番地 総合庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)